

達成度：H23.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

税務課の目標（平成 22 年度）自己評価書

税務課長 大坂 俊男

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1. 住民税班</p> <p>(1) 次の税について、課税対象の把握に努め適正な賦課を行います。</p> <p>ア. 個人・法人町民税</p> <p>イ. 軽自動車税</p> <p>(2) 税の内容や納税の周知については、広報や冊子等によりご理解をいただくよう努めます。</p> <p>2. 資産税班</p> <p>(1) 平成 24 年度の固定資産評価替えに向け、引き続き課税客体の把握に努め適正な賦課に努めます。</p> <p>ア. 固定資産税</p> <p>イ. 都市計画税</p> <p>3. 収税班</p> <p>(1) 自主財源である税収の確保や税負担の公平性をご理解いただき、徴収率の向上に努めます。</p> <p>(2) 滞納者との接触、納税相談、電話催告、分納の管理等きめ細かな対応と自主納付を促進します。併せて、口座振替加入率の向上に努めます。</p>	<p>5</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>4</p>	<p>賦課事務については、課税対象の把握に努め異動件数が増えている中、適正な賦課を行い目標を達成した。</p> <p>広報への確定申告の周知等や酒々井の町税等を HP に掲載した。</p> <p>平成 21 年度に引き続き、平成 22 年度も評価替えに向けての課税客体の把握に努め、目標を達成した。</p> <p>目標に従い、計画的に収納事務を行い税収の確保を図り目標を概ね達成した。</p>